

共用ラック（学外公開用 DMZ または学内用）利用に関する注意事項

情報基盤センター

本文書は、研究室所有のサーバーを 2 号館 2 階の 22A 室に設置・運用する際の注意事項について書かれたものです。サーバーを学外公開したい場合や、運転音や温度管理の対策のため、研究室外で運用したい場合に利用してください。

1. 設置

- ・学外公開用 DMZ と学内用のネットワークは事故を防ぐため、別のネットワークとしています。指定したラック以外への機器設置は行えません。新規購入時にはラックマウント型もしくは省スペース型の機器を選定してください。ラックからはみ出ることの無いようラック内に収納できる機器を選定してください。
- ・事前に固定 IP アドレス申請を行い、発行された IP アドレスを当該サーバーに設定してください。
- ・電源コンセントは 100V で、形状は汎用的な接地 2P（平刃）です。他の形状のプラグを利用したい場合や、200V を利用したい場合には、キャンパス総務センター（施設管理）にご相談ください。
- ・設置作業は、責任者が実施してください。ラックマウントする場合のねじや棚板、スイッチと接続する情報ケーブル、基幹電源からの電源取得タップ等は、責任者が準備してください。
- ・当該機器が外部に乗っ取られる、ウイルスに感染する等した場合、同一スイッチやサブネットに接続された機器も同様の被害を受ける可能性があります。各機器個別でのファイアウォール及びマルウェア対策は必ず実施してください。
- ・リスク発生時に速やかに責任者に連絡が取れるように設置機器筐体に「IP アドレス」「機器名（サーバー名）」「研究室名」「責任者名」「担当者名（学生の場合は学籍番号も）」がわかるように明記してください。

2. 運用

- ・サーバーの乗っ取りやウイルス感染、外部への攻撃等が確認され次第、機器をネットワークから切断いたします。状況によっては、電源の切断も行います。
- ・緊急度の度合いによっては、管理者への告知なしにネットワークや電源の切断を実施する場合があります。その際、ハード・システム・データ破損等の一切について保証できませんので、各自でのバックアップをこまめに実施するようにしてください。
- ・電気設備保守点検等で停電が発生する場合には、事前にシステムの停止を行ってください。
- ・情報基盤センターは、基幹ネットワーク(スイッチまで)、ラック、基幹電源、空調の管理を行います。研究室のシステムについての構成、設定、保守等はいりませんので、各研究室にて責任をもって実施してください。
- ・定期的に、OS・ソフトウェアのアップデート、修正プログラム適用等セキュリティー対策を実施してください。
- ・外部への攻撃などが発生した場合には、学内外への説明責任が生じます。その際にはいつどこで何がどのように発生したか正確な調査、報告を行えるように各種ログ取得設定と保管を行ってください。

い.

- 個人情報や重要な情報を含むデータはサーバー上に極力保存しないでください。また、サーバーでどのようなデータを取り扱っているか正確に把握してください。
- ソフト構築図、システム構成図、管理者権限情報等の関係書類を作成し、各研究室にて厳重に保管してください。
- 管理する機器の管理者パスワードが勝手に変更される、意図しない通信を行っている等、管理対象機器に不審な動きを察知した場合は、至急、情報基盤センターに連絡・相談してください。
- 学内用のラックで運用するサーバーは学外から直接アクセスできません。学外からの利用が必要な場合には、VPN 接続を行ってください。

3. 申請

- 本申請は、研究、学務等の推進に必要な場合に申請できます。
- 本申請は、年度単位の承認となります。継続使用する場合は、毎年 4 月に更新申請を行ってください。申請を行わない場合は、廃止となります。
- 不要となった機器は、すみやかに廃棄処理を行い、撤去してください。
- 本申請は、責任者が行います。責任者は、機器を運用する研究室の専任教員とします。
- 担当者は、専任教員以外でも可能ですが、「サーバシステム構築」、「LAN 環境演習」を受講済み者か、同等の知識・技術を有するものとします。

以上